

浜松医科大学医学部医学科
卒業生調査結果報告書

平成31年3月

浜松医科大学 IR 室（教学部門）

はじめに

現在、大学に求められている取組みの一つに、教育の内容や成果を、自ら点検・評価し、改善に繋げるという「教育の内部質保証システム」が挙げられています。また世界医学教育連盟(WFME)の基準においても、大学のステークホルダーから意見を反映し、カリキュラムの改善に向けることが求められています。この2つの趣旨は共通しており、大学が理念として掲げる教育に対し、成果を出せているのかどうか、そうでなければどこに問題点があるのか、どのような改善方法が求められるのかを探る点にあります。

そしてこの医学教育を取り巻く状況から、浜松医科大学では、平成29年に教育プログラム(カリキュラム)の点検と評価を行うためのカリキュラム評価委員会を設置しました。カリキュラム委員会では、在学生の成績やアンケートなどを取り、改善の提案を行いましたが、今回、もっとも身近なステークホルダーである卒業生を対象にアンケートを実施しました。社会へ輩出する卒業生というのは、どの大学にとっても成果といえます。その成果物ともいえる卒業生から、社会経験を踏まえ、感じたこと、思ったことなどは、より良い教育を考えるうえで大学にとって不可欠なものです。

医学教育において、医師のプロフェッショナリズムを論ずるとき、省察(リフレクション)は不可欠なものと教えられます。まして教育を行う大学自身にとっては、なおさらではないでしょうか。この調査結果は本学の教育を省みる良い機会と捉え、反省点と課題を見出し、今後の教育への改善につなげていきたいと考えています。

最後になりましたが、アンケート実施にあたり、お力添えをいただいた浜松医科大学同窓会の皆様、貴重なお時間を割いて回答にご協力をいただいた卒業生の皆様に心よりお礼申し上げる次第です。

浜松医科大学 IR 室

I 調査概要

1. 調査の目的

本学卒業生（第 30～39 期生）を対象に、浜松医科大学で受けた教育が現職でどれくらい活かされているか把握すると同時に、不足していたと感じる教育内容の把握を目的とした。29 期生以前の卒業生については、現在のカリキュラムと大きく異なり、比較が困難であると判断し、直近 10 年間の卒業生を対象とした。

2. 調査実施概要

- ・調査対象 本学平成 20～29 年度卒業生（第 30～39 期生）で、同窓会で勤務先もしくは住所の判明している者
- ・調査方法 郵送調査・（回答は郵送による返送と Web アンケートの併用）
回答は無記名とした。
- ・調査期間 平成 30 年 7 月下旬～8 月 31 日
- ・発送件数 947（発送した 959 件のうち、12 件は宛先不明により返送）
- ・回答件数 181
- ・回答率 19.1%

3. その他

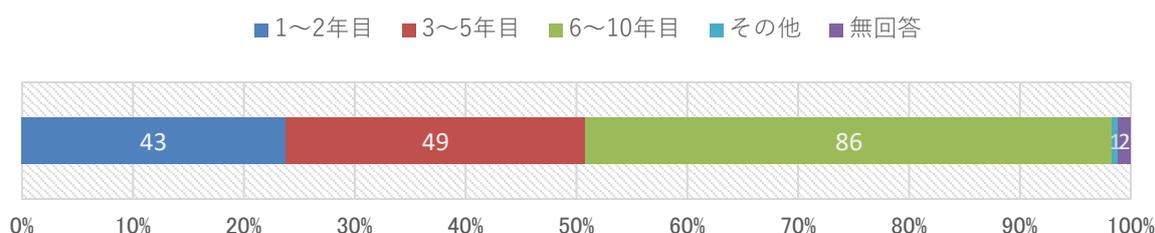
本調査の原案は、カリキュラム評価委員会で企画し、アンケートの実施および結果の分析は IR 室がとりまとめを行った。

II 集計結果 問1～問3：回答者属性

問1から問3までは、回答者の基本的な属性について、質問を行った。問1の結果グラフからは、それぞれの卒後年数からほぼ等しい割合で回答が得られたものと考えられる。問2は、現在の職について質問をし、単純集計を行った結果である。結果としてグラフのような属性が示されたが、後述の問4以降ではこの回答者属性を用いてクロス集計を行っている。

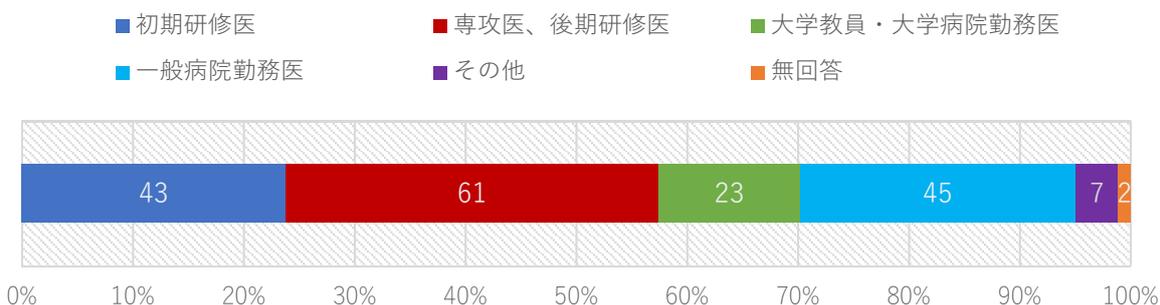
問3においては、対象から初期研修医を除き、回答に差し支えなければ、という前提で診療科や研究分野について尋ねた。この質問では“小児科（小児血液腫瘍）”や“腎臓・高血圧内科”のように、診療科に加え、詳細な専門分野について回答があったものを、それぞれ“小児科”、“腎臓内科”のように再カテゴリズし集計を行った。ただし、疾患名をそのまま標榜し、臓器別などへの再カテゴリズが難しいものは、加工は行わずそのままとした。

問1. 卒後何年目でしょうか



備考 「4. その他」の1件の回答は、編入学者であることを意図としたものと推察される。

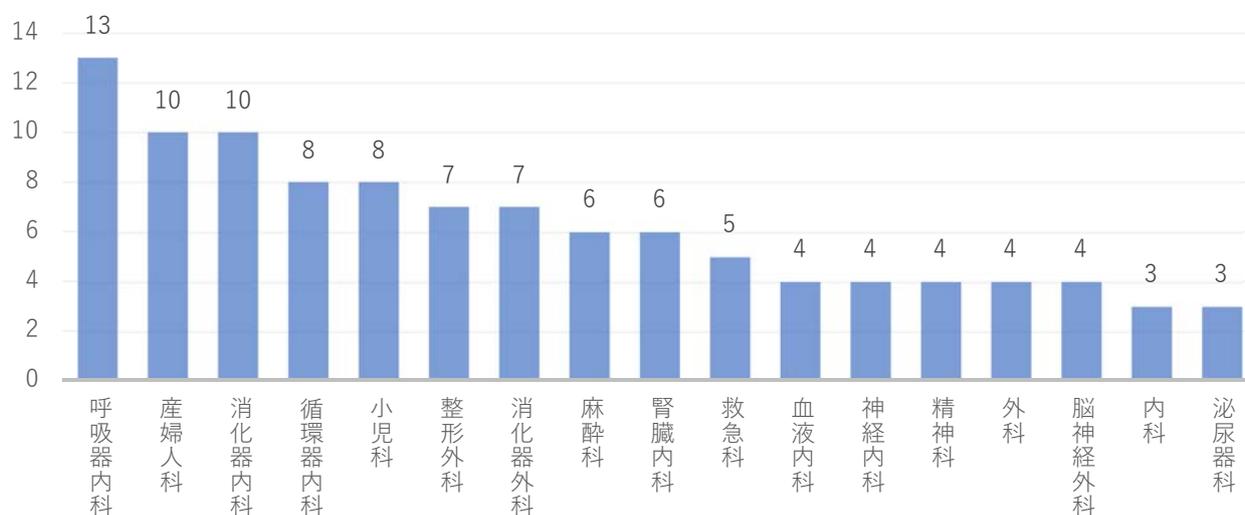
問2. 現在の職について、教えてください。



問2で「その他」と回答した7名の内訳

大学院生4名、労働衛生機関（産業医）1名、人間ドッククリニック1名、主婦（夫の留学に帯同中）1名

問 3. 現在のご専門（診療科、研究の分野等）を教えてください。



※グラフは回答数 3 以上のものを計上

回答数が 2 件以下であったもの

各 2 件… 眼科、肝臓内科、形成外科、血管外科、糖尿病内科、内分泌代謝内科、耳鼻咽喉科、皮膚科

各 1 件… 呼吸器外科、産業医学、消化器内科・腫瘍内科、診療科：初期診療・救急科、研究分野：法学実務、総合診療科、小児外科、放射線診断科、乳腺内分泌外科、放射線治療科、リウマチ膠原病内科、リハビリテーション医学

III 集計結果 問4： 教育内容の現職への寄与度

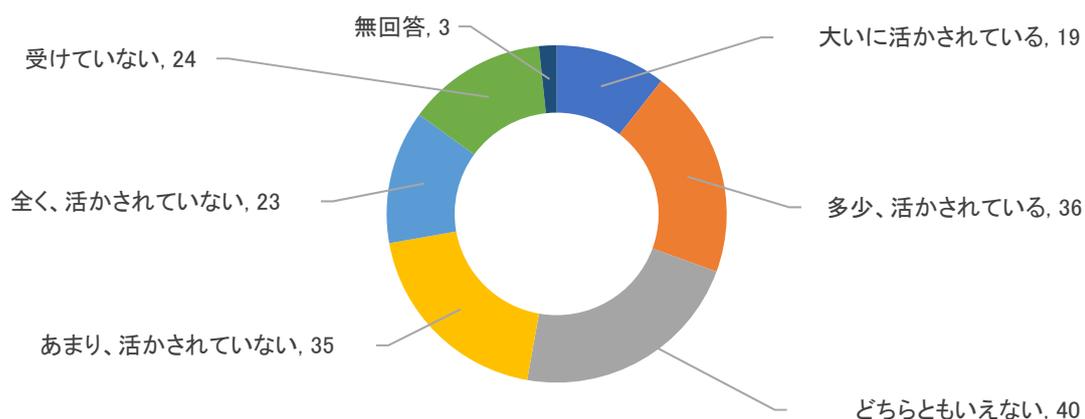
問4では、浜松医科大学在学時に受けた教育が、現在の仕事においてどの程度、活かされているかを尋ねた。回答は「大いに活かされている」から「全く、活かされていない」まで5段階での評価とし、在学当時に実施されていなかった教育は「受けていない」という選択肢を設け、評価と区別できるようにした。

選択肢として設定した事項は、「合宿研修における早期臨床体験学習」、「一般教育の授業」「基礎配属」、「基礎・臨床・社会医学の授業」、「PBL」、「臨床実習（5年次）」、「選択臨床実習（6年次）」、「合同講義（6年次）」、「卒業試験」の合計9項目とした。

問4. 浜松医大在学時に受けた下記の教育内容が、現在の仕事にどれだけ活かされているか、5段階で評価をしてください。

1-1 合宿研修における早期臨床体験学習（1年入学時）

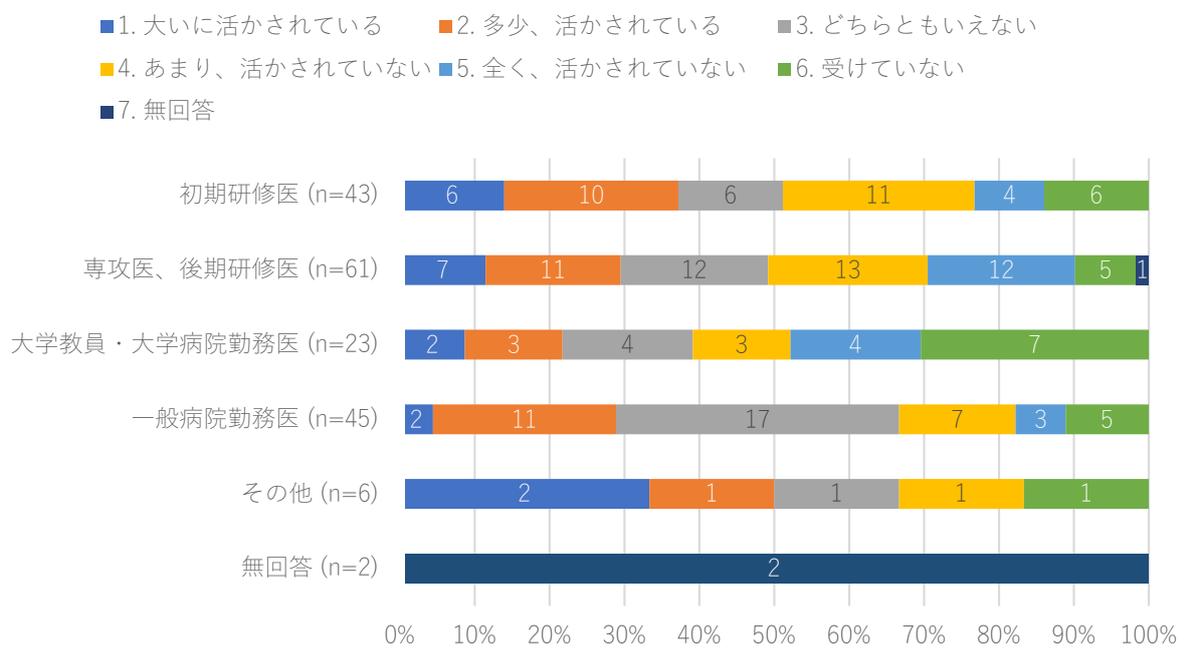
ここでは入学直後に実施している早期臨床体験学習を取り上げて質問を行った。年代によって実施内容は異なるが、最初に始まったのは昭和60年頃とされ、30年以上の歴史がある。1年次に実施をしているものであるため、2年次から入学する編入学者においては、当然「受けていない」の回答となる。



1-2 合宿研修における早期臨床体験学習（1年入学時） 回答者属性別の内訳

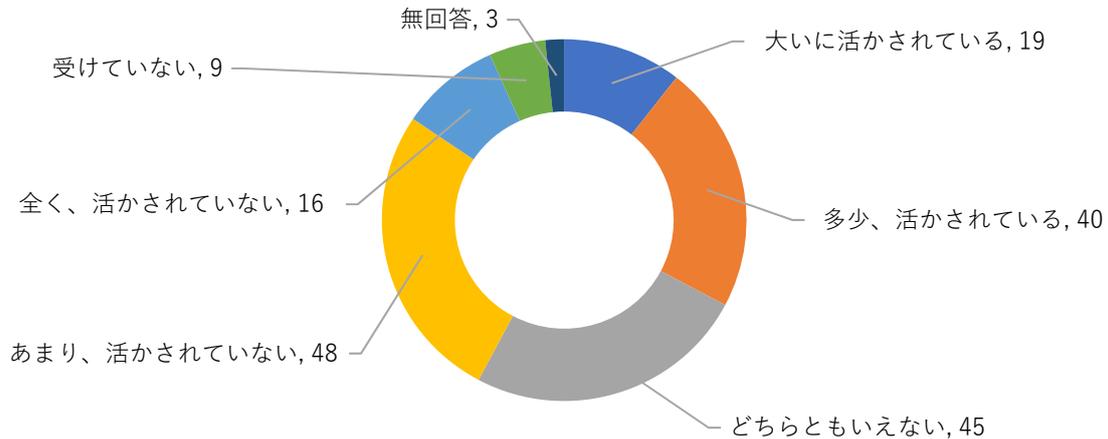
全体の傾向として、どの回答者区分においても「大いに活かされている」から「多少、活かされている」という回答が概ね30%を占めており、現職に活かされているとは言いがたい結果となった。

しかしながら、これは医療従事者としての自覚を医学部6年間の早い段階で促すことを目的に行っているものであり、現職に活かされていないのはごく妥当と考えられる。質問として設けたことは、むしろ適切でなかったと考えられる。



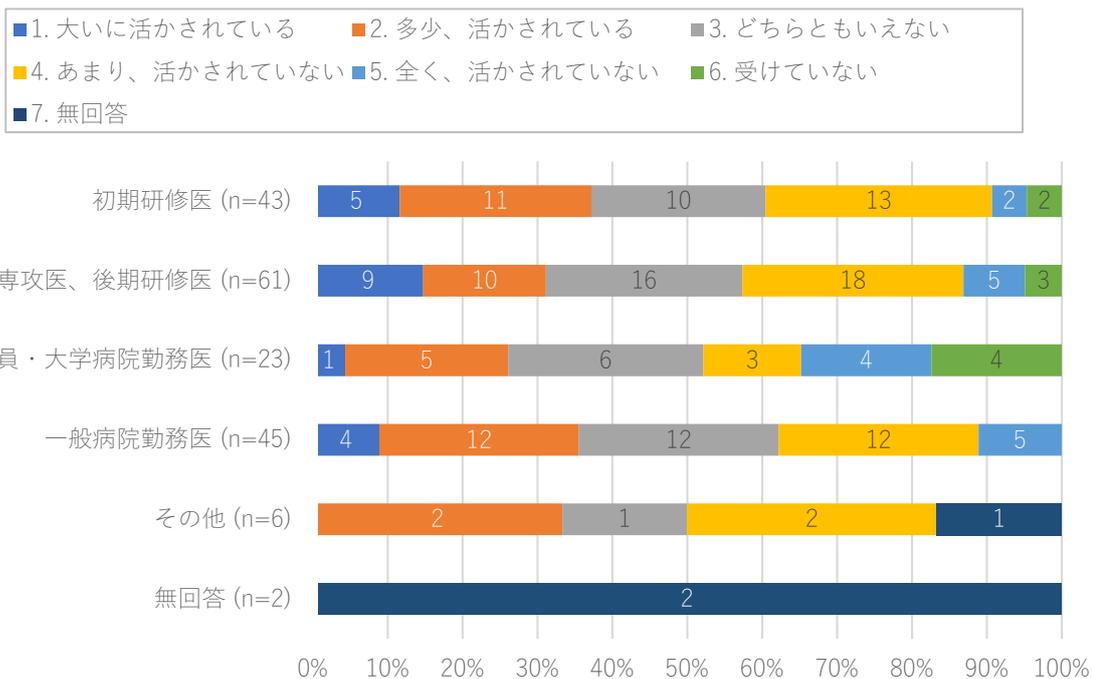
2-1 一般教育の授業

1年次～2年次前期にかけて、科目を配置している一般教育（一般教養）の科目群について、質問を行った。本学は、他大学と異なり単科であるという事情のため、医学部以外の学部の科目を選択したり、聴講したりすることが出来ない。配当される科目は、語学や自然科学系の科目が中心となっている。以前は、中国語や体育などの科目もあったが、現在は大幅に削減されている



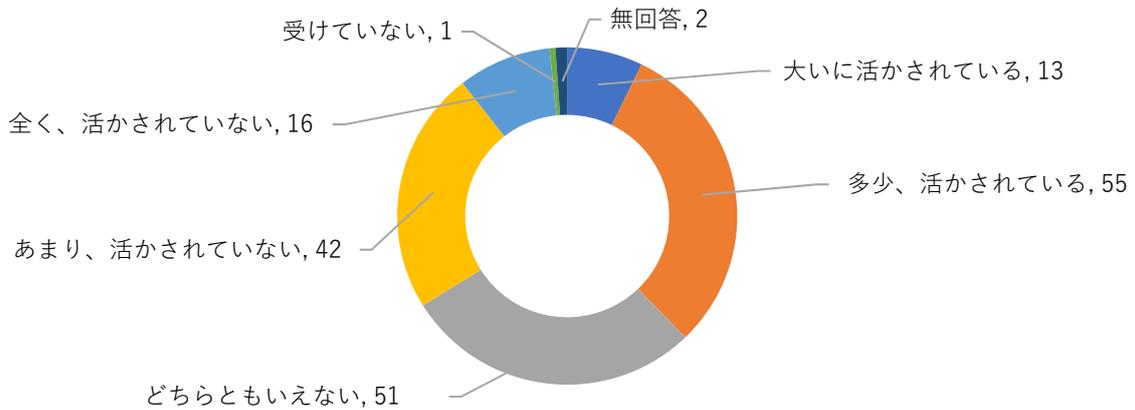
2-2 一般教育の授業 回答者属性の内訳

前述の1-2の結果と同様に「大いに活かされている」および「多少、活かされている」までの回答が概ね30%を占めており、回答者属性においても大きな差異は見られなかった。なお、学士編入学の入学時期は、平成27年度入試から2年次前学期からとなっており、現時点での卒業生の入学時期は、すべて2年次後学期である。このため一般教育の授業を「受けていない」という回答は誤りではない。



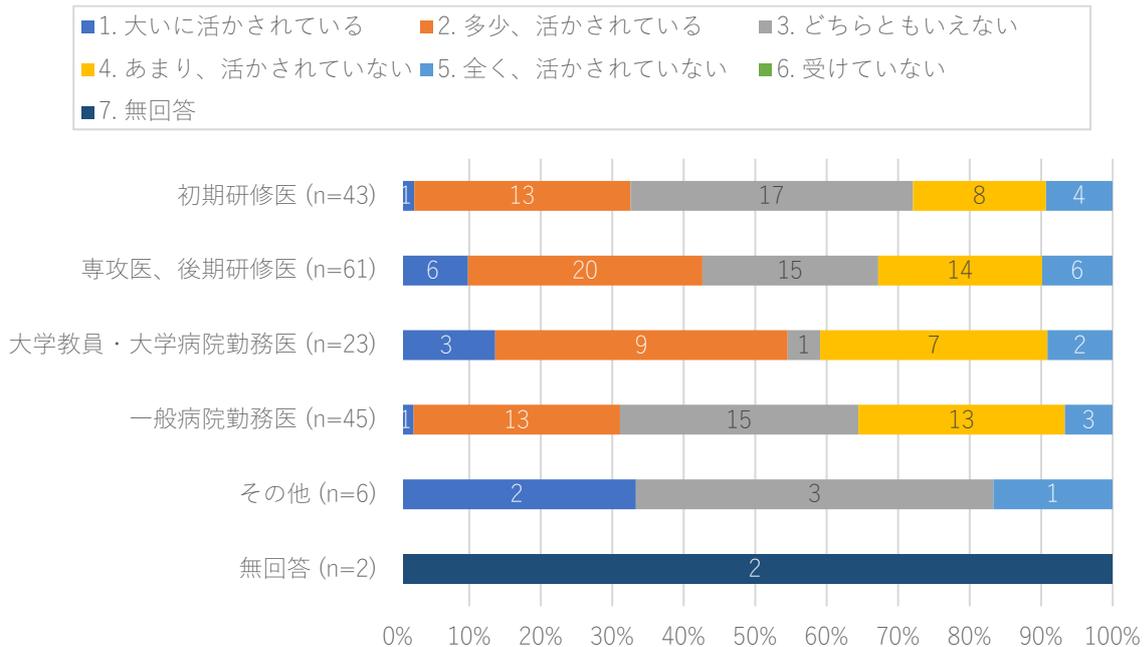
3-1 基礎配属

基礎配属は医学科 3 年次後期に開講される必修科目で、リサーチマインドの涵養を主目的としたものである。学生は基礎医学系の講座に 6 週間にわたって配属され、研究の一連の過程を実体験する。グラフ 3-1 おいては「受けていない」という誤回答が 1 件あるが、ここでは特に修正を入れずに集計を行った。



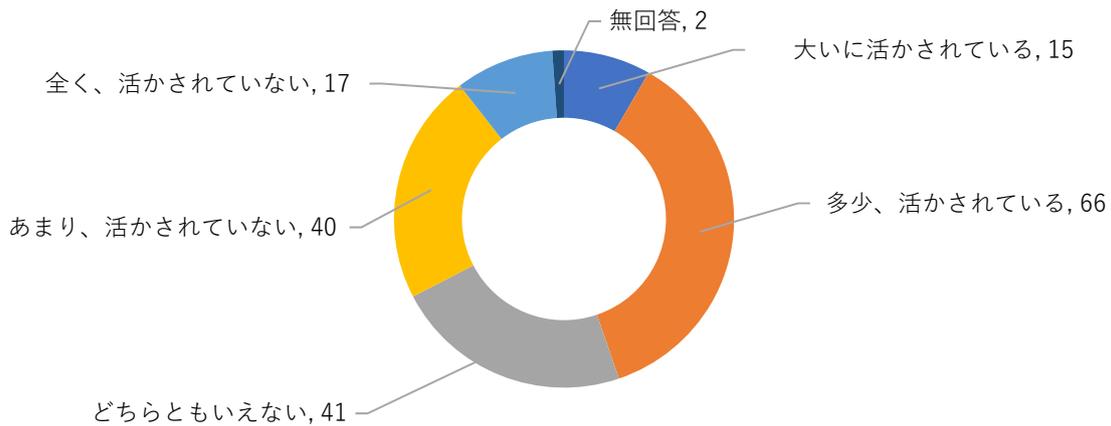
3-2 基礎配属 回答者属性の内訳

まず前述のように、「受けていない」という回答が 1 件みられたが、これは誤りであるため、集計から除外した。該当の回答者区分は、大学教員・大学病院勤務医であった。大学教員・大学病院勤務医においては、「大いに活かされている」と「多少、活かされている」とを合わせ 50% を超えているが、初期研修医、一般病院勤務医ではおよそ 30% とやや低めであった。



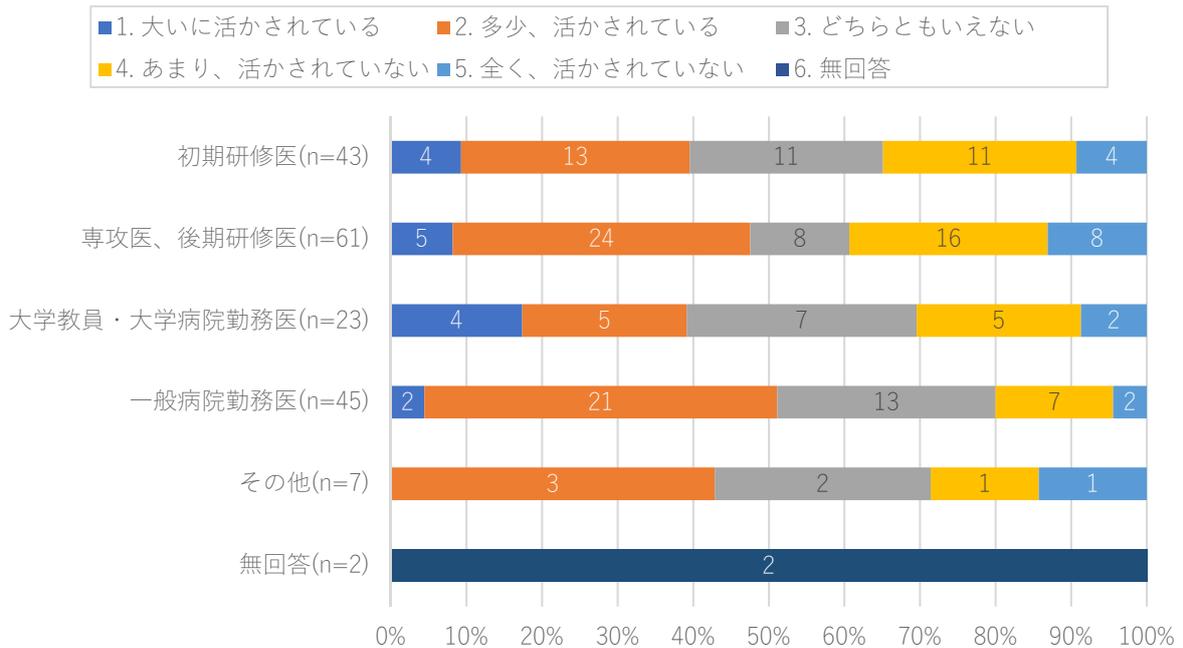
4-1 基礎・臨床・社会医学の授業

ここでは医師および医学研究者にとって、基礎となる専門的知識をとりあげ、現職に活かされているかどうか尋ねた。医学は日進月歩であり、学んだ知識があつという間に陳腐化する分野である。この質問において「大いに活かされている」という回答が多かった場合、むしろ「非常に悪い」と懸念したが、もっとも低い値となった。評価の分かれるところではあるが、「多少、活かされている」、「どちらともいえない」の回答で約60%を占めたことを、当室では概ね良い結果が得られたものと考えている。



4-2 基礎・臨床・社会医学の授業 回答者属性別の内訳

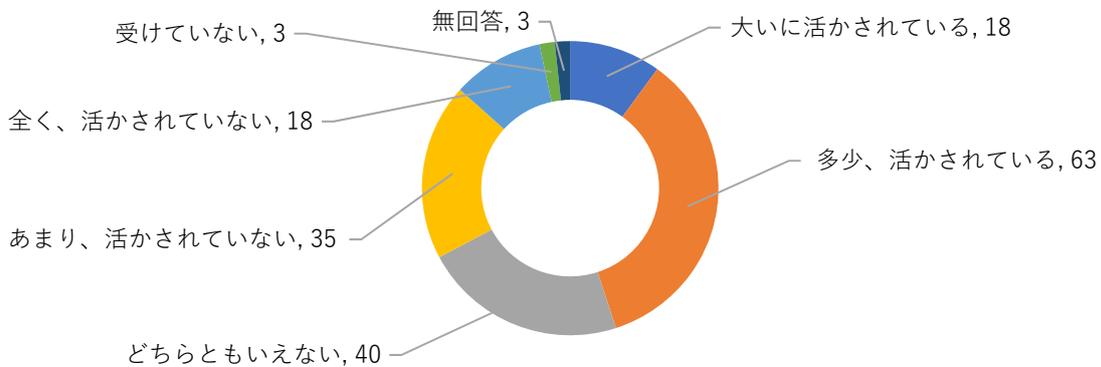
下記のグラフは基礎・臨床・社会医学の知識における、回答者区分の集計結果である。どの回答者区分においても、前述の4-1のような傾向が見られる。



5-1 PBL (Problem-Based-Learning)

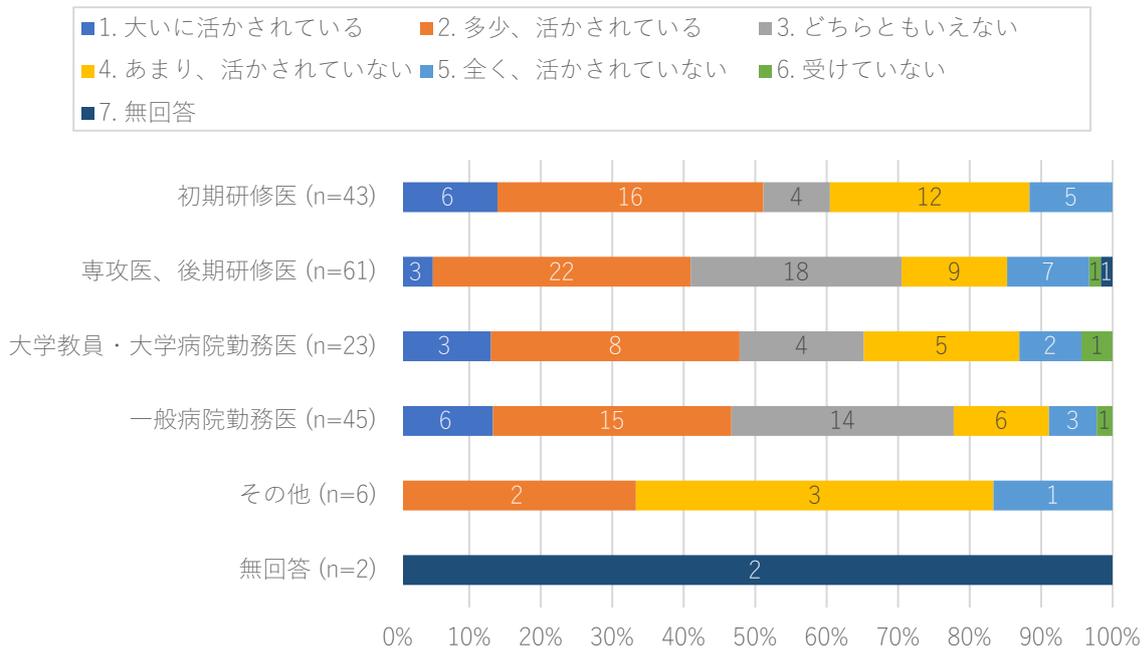
PBL は、Problem based learning の意味で、課題（症例）に基づいた学習アプローチである。本学では PBL チュートリアルと呼び、5～8 名程度からなる少人数グループで課題解決のための議論を行いながら、必要な事項を学ぶ形式である。このグループに教員もしくは 6 年次生チューターとして、学生同士の議論をサポートしている。2018 年現在のカリキュラムでは、「PBL」という名称で独立した科目となっているが、2003 年の導入当初は PBL チュートリアル、あるいは単にチュートリアル学習と呼び、系統別講義のなかで実施していた。

下記のグラフは PBL チュートリアル教育の有用性を尋ねた結果である。「多少活かされている」「どちらともいえない」という回答があわせて 103 名 (56.9%) であったが、はっきりとした有用性は結果に見いだすことは出来なかった。



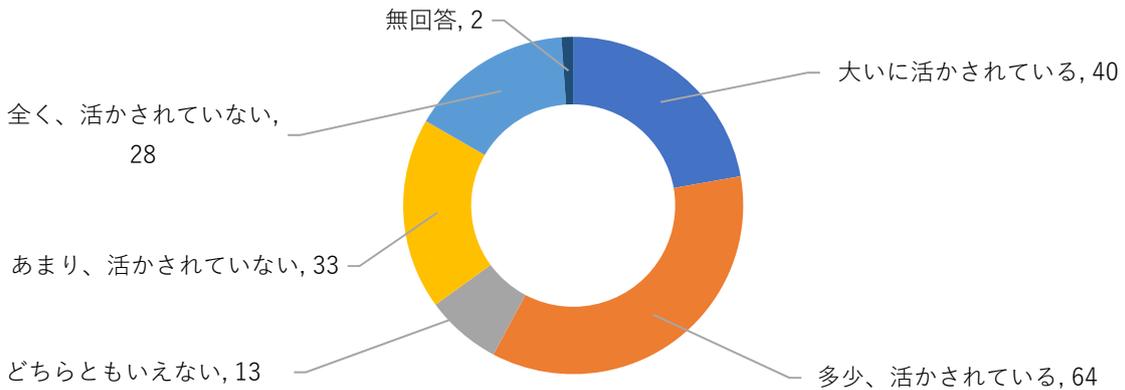
5-2 PBL(Problem Based Learning) 回答者属性別の内訳

どの回答者属性からも 3 割程度「多少、活かされている」との回答が得られた。PBL チュートリアル教育は、本学において 15 年以上実施され、手法や内容にも様々な変更と変遷を経ているが、医師のステージが変わっても、有用性は同程度の割合であった点は、示唆に富んでいる。



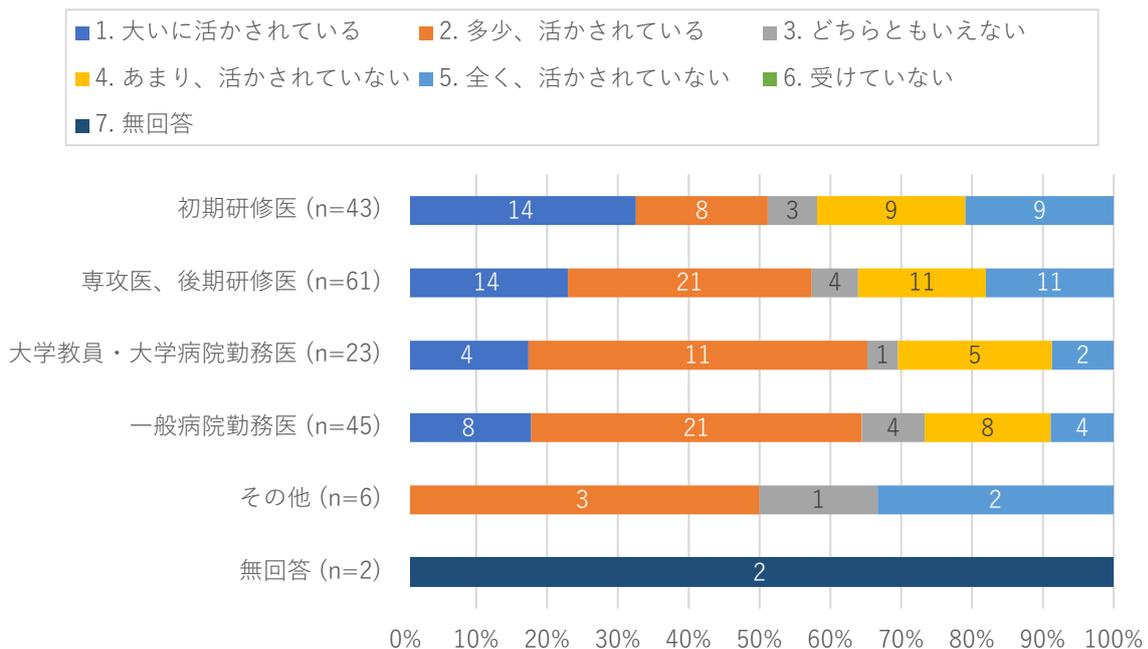
6-1 臨床実習（5年次）

すべての診療科をローテーションする5年次臨床実習について質問を行った。「大いに活かされている」「多少、活かされている」という回答で、6割近くを占めている。医学科固有の教育であり当室では、もっと高い数値を得られるものと期待していたが、「大いに活かされている」の回答は22.0%にとどまっている。



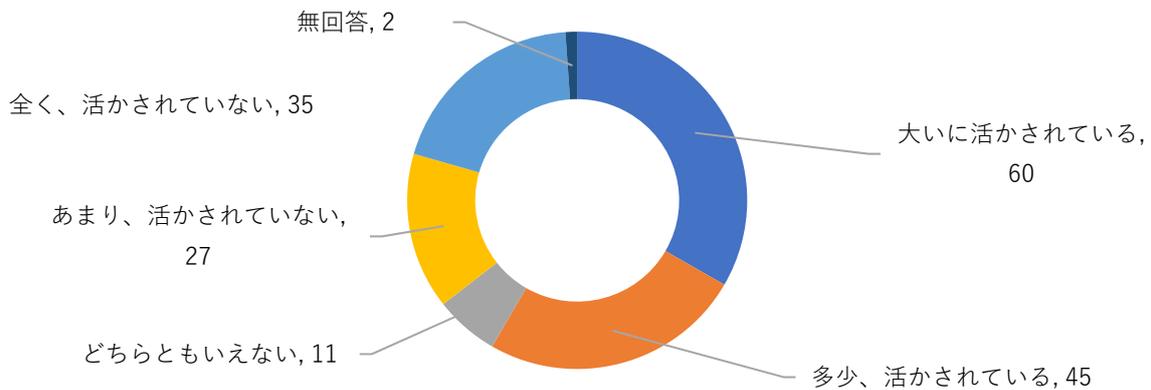
6-2 臨床実習（5年次） 回答者属性別の内訳

臨床実習（5年次）の有用性を、回答者属性別に分けて集計を行った。医師のステージが上がると、「大いに活かされている」という回答割合が減少しているのは、初期研修や後期研修、また現在の臨床業務が暴露したものと推察される。



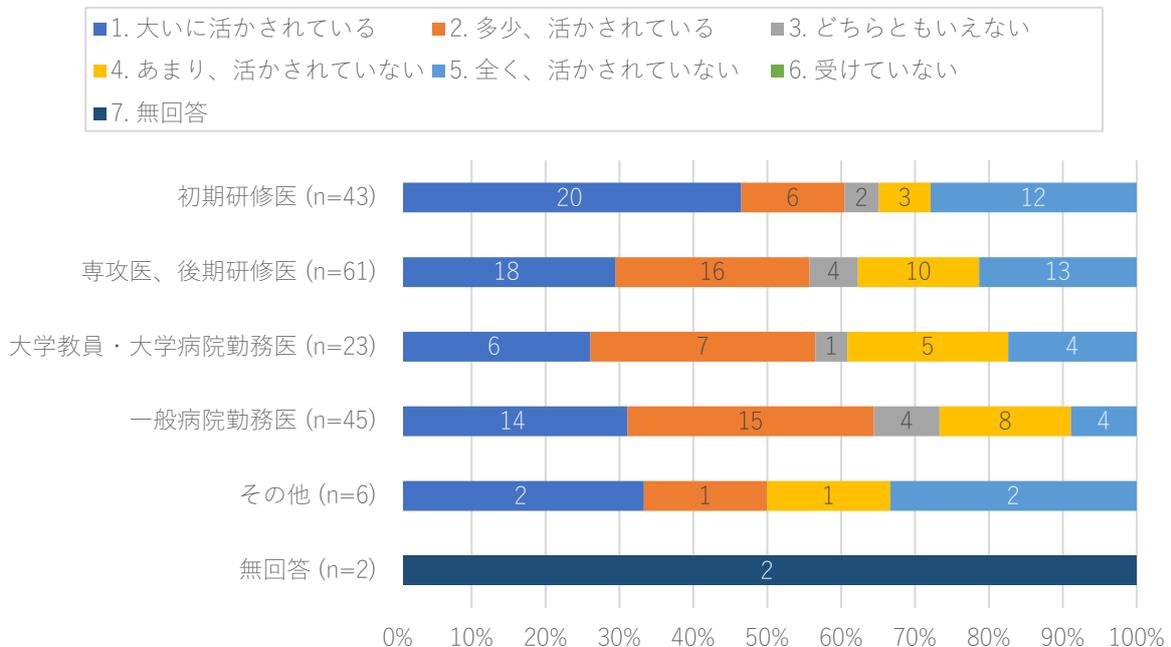
7-1 選択臨床実習（6年次）

6年次の選択臨床実習（選ポリ）を取り上げて、有用性を尋ねた。他の設問と比較して、この回答は「大いに活かされている」の割合が突出している。またそれに続いて「多少、活かされている」の回答も多い。選ポリについては、専門を決める際の重要な要素になるものと考えていたが、当室の予想を超えた結果が示された。



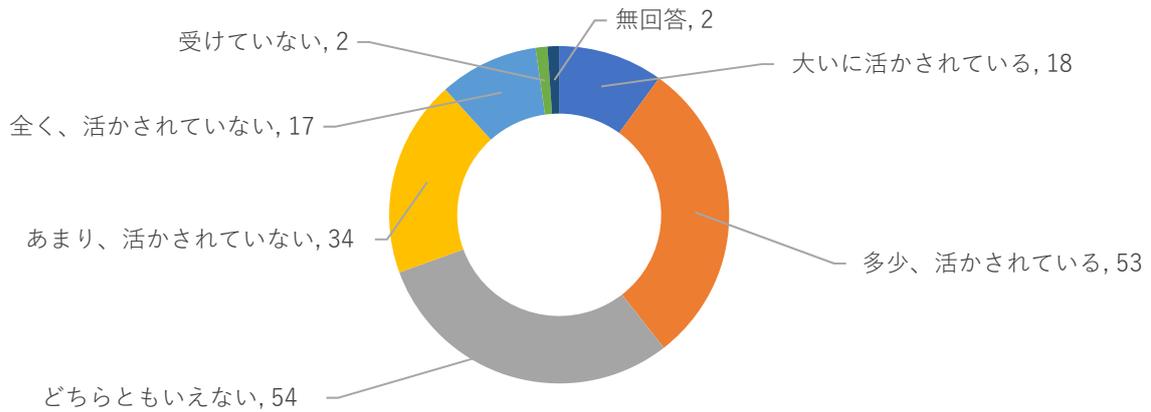
7-2 選択臨床実習（6年次） 回答者属性別の内訳

6年次の選択臨床実習（選ポリ）を回答者の属性別に集計した。どの属性においても「大いに活かされている」、「多少、活かされている」の回答が50～60%を占めている。



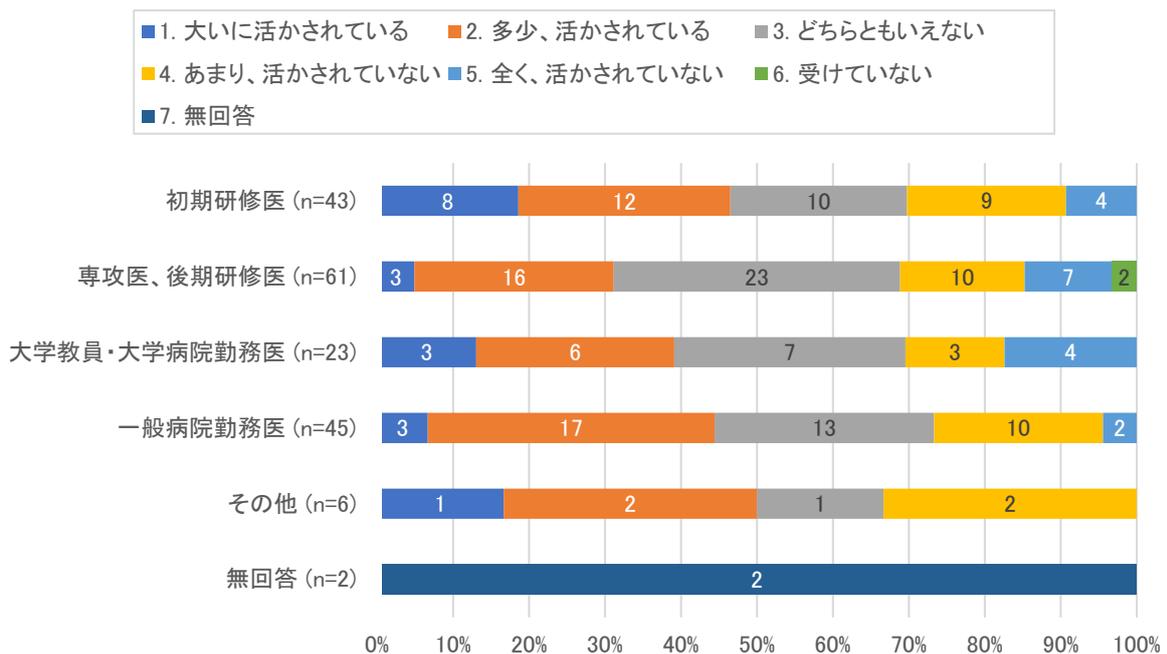
8-1 合同講義（6年次）

ここでは6年次に担当している合同講義について質問を行った。合同講義はオムニバス形式で行われ、基礎・臨床を問わず、その時々の特ピックスを扱ったり、医師国家試験を意識した内容を盛りこんだりしている。授業は教務委員会の委員（臨床系）が中心となって取りまとめ、内容は毎年、変更がなされている。アンケートの結果としては、「どちらともいえない」、「多少、活かされている」が6割近く（59.1%）を占め、はっきりとした有用性は認められなかった。なお、必修科目であるため「受けていない」の2件は誤答である。



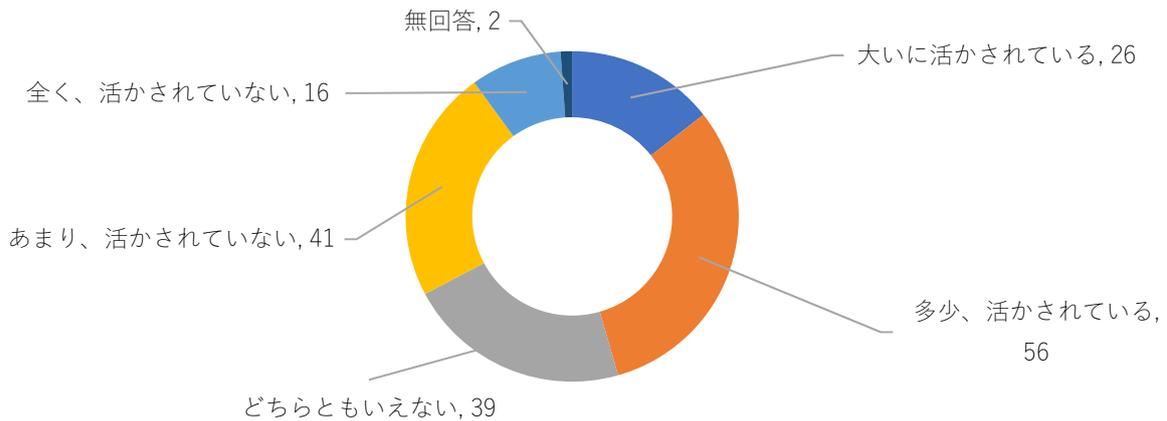
8-2 合同講義（6年次） 回答者属性別の内訳

合同講義について、回答者属性別に集計を行ったが、座学の授業と同様に特異的な傾向は見られなかった。



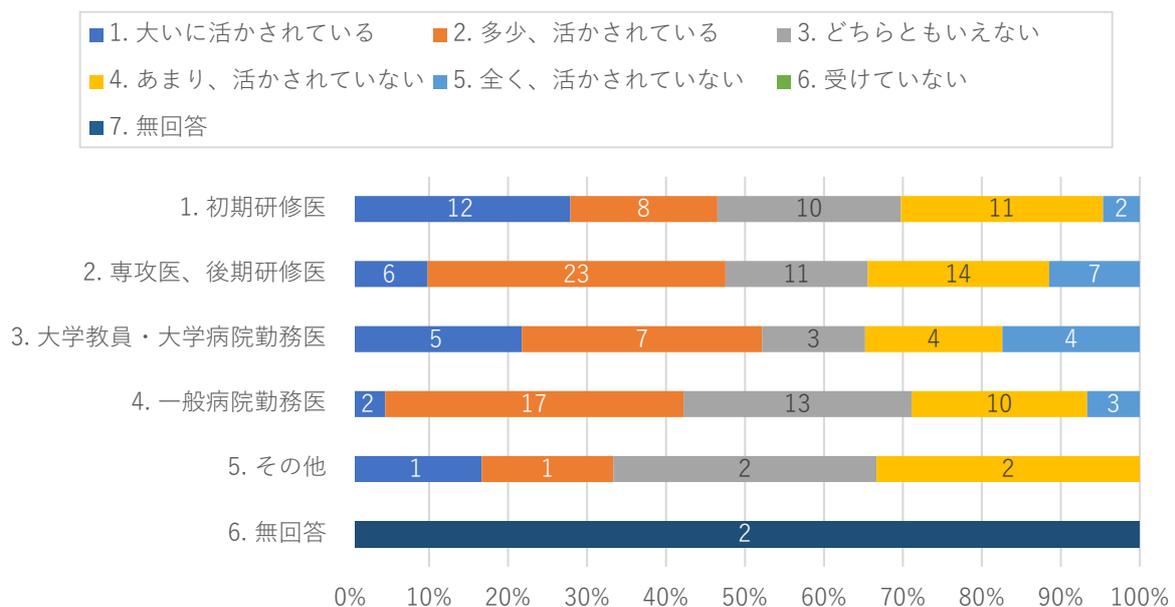
9-1 卒業試験

6年次生にとって、医師国試の前のハードルである卒業試験について、その有用性について尋ねた。正確には科目ではないが、平成24年度からGPAの仕組みを適用し「不可」評価がなくとも、値が1.3を下回る場合は不合格となるよう変更がなされた。結果は「多少、活かされている」と「あまり、活かされていない」で半分以上を占めた。また「どちらともいえない」を加えると、75%を超えている。全体として捉えると、評価は分かれたとみられる。



9-2 卒業試験 回答者属性別の内訳

回答者区分に応じた内訳をグラフに示したところ、「その他」を除き、どの回答者区分においても約30%の割合で「多少、活かされている」という結果が見られた。当室では「勉強する習慣が身についた」等の回答を期待しており、自ずと有用性も高くなるものと想定していたが、それも言い切れない結果となった。当室としては、今後、詳細な調査と議論が必要であると課題視するにとどめたい。



IV 集計結果 問5～問8：自由記載回答

問5から問8までは、自由記載による回答である。集計にあたり、結果をより具体的な参考とするため、どの回答者属性からどういう回答が得られたか分けて集計を行った。また忌憚のない意見として受け止めるため、アフターコーディングは行わず、文章表現もそのまま記載した

初期研修医

問5. 浜松医大在学時に受けた教育あるいは学生生活において、現在の仕事で役に立っていると思えるものがあったら教えてください。

1. 基礎医学の生理学と臨床医学・実習は役に立っている部分もあります。
2. 薬理学、生化学、生理学等の基礎医学は病態や薬の作用機序の理解のために重要だったと改めて感じる。四つ葉というボランティアサークルの活動も経験させてもらえて学ぶことが多かった。
3. 救急の勉強
4. 卒業試験の内容
5. 卒試に向けた勉強
6. PBL
7. PBLにより自学自習の質が向上しました。
8. PBLはわりと有用だと思います。
9. 臨床実習やPBL
10. 臨床実習
11. 臨床実習（選択も含めて）で、様々なことを体験させてもらった。手技など。
12. 解剖実習と臨床実習
13. 第二外科、聖隷浜松（救急）での選択実習
14. ポリクリ
15. ポリクリや選択ポリクリなどの実習
16. 選択ポリクリ

17. プレポリクリでの実技演習
18. ポリクリ（特に脳外）カンファでの発表。今でもその時に指導されたことをふと思い出すことがある。（発表の仕方、どのような流れで話すと分かりやすいかなど。）
19. ポリクリでプレゼンテーションの仕方などきめ細やかに教えて頂き、現在に活かされていると感じます。
20. 授業プリント、ポリクリで頂いた資料は未だに見返すものがあります。
21. 部活、サークルのつながり、縦の関係
22. 部活
23. 部活で体力がついていること。
24. 部活動（仕事で落ち込んだ時の心の支えになる）。
25. みんなで部活を頑張る雰囲気から協調性が得られたと思う。
26. 部活での対人関係の経験
27. 特になし。強いて言うなら論文発表などは他大学に比べてよかったかと。
28. 特になし。

問 6. 浜松医大在学時に受けた教育あるいは学生生活において、現在の仕事を進めるにあたって、足りなかったと思えるものがあったら教えてください。

1. 臨床推論能力、診断学
2. 解剖学は佐藤先生のとこじゃないところが勉強不足でした。難しかったですけど佐藤先生のところで勉強したことが生きています。
3. 多職種との高学年になってからの関わり
4. 勉強時間、教材
5. まともな授業
6. ポリクリが専ら見学だったので仕事が始まった頃は問診やカルテ記載が他大卒の子と比べ著しく経験不足だった。
7. ポリクリにおける臨床でのふるまいや考え方など。
8. カルテをポリクリで書かないので、初期研修で内科カルテの書き方が全く分からず、戸惑った。

9. カルテの書き方
10. 実技に関しての実習
11. 実技経験が意味分らないくらい足りない。
12. 実臨床における知識、手技
13. 手技
14. 基本的手技、エコー検査等の実技授業、ER 対応、実習時間が不足していると感じた。
(BLS、ICLS 等含め)
15. 初期研修医としてできないといけない基礎的な手技
16. 鑑別診断を挙げて次にする検査などを考えるトレーニング
17. 補液について、栄養について
18. 各疾患における投薬量など。
19. 入院から退院までのながれ。IC の仕方。
20. 具体的な医師生活におけるシステムの教育
21. もうちょっと学習スペースがほしかった。
22. 医学部の場合、普通の大学生のような就活や研究室所属がない。クラスもないので、少し道をそれたとき、頑張りすぎているとき、少し様子がおかしいときに親身になって早めに声をかけてくれる先生がいない、そういう関係がない。初めて一人暮らし、大学生という人も多いので、一カ月に一度でもいいので、大人（学生以外）と学生が日々の生活を含めて面談する体制は必ず要ると思います。自分自身がそういう体験をしたので、後輩にはそういうサポートが元気なときから定期的に受けられる体制を整えてあげて欲しいです。
23. 特になし。

問 7. 現在、浜松医大に在籍する後輩に対し、先輩として伝えたいことがあれば教えてください。

1. 可能なら授業の予習をしておけばよかったです。
2. もっと勉強しておけばよかった。
3. わからないことをそのままにしておくと後々いいことはないです！
4. 人並みの勉強を。

5. 国試は勉強した方がいいです。
6. 選択ポリクリでは積極的に留学を目指して下さい。楽しいです。
7. 実習ではなるべく患者さんに関わり学ばせていただいた方が後々役に立つ。
8. 授業や実習で学んだことは卒業した後役立つことがあるので大切にして欲しいと思います。
9. 心電図はしっかりやっておくこと。
10. 静岡を出て、他大学の人と一緒に実習しましょう。
11. 部活をするなり、学生生活を満喫すること。
12. 部活動などで自分が熱中できることを見つけて取り組むといいと思います。もちろん学業もおろそかにせず頑張ってください。
13. 勉強よりも部活や遊びを真剣に！勉強するのはやるべき時がある。学生は色々な経験を積んで人間性を育むべき。
14. 学生の間は遊びましょう。（1～5年）
15. よく遊んで友達を大事にしてください。
16. 早く卒業
17. 是非、医大で研修を！
18. 人それぞれ何かしら問題を抱えることがあると思いますが、一人で抱え込まず、とにかく早い時期に信頼できる先生に相談したり、人を頼ることをして下さい。
19. 特になし。

問 8. 現在の浜松医大に対して、卒業生として何かご要望がありましたら教えてください。

1. 選ポリで選べる病院を県外、全国に拡げて下さい。
2. コンビニの営業を長くして欲しい。図書館で勉強していて欲しい時に買いに行けない。6年次のロッカーを講義棟に作って欲しい。外来棟に行くのは授業時とテストのみで勉強するのは講義棟だったため不便だった。
3. グラウンドにナイター設備を。
4. 大学と病院の渡り廊下にエアコンを設置してもらえれば嬉しいです。

5. コメディカルとのかかわり方（どの職種がどの範囲を受け持っていて、どれくらいの裁量権が与えられているのか）は働き始めてから知ること多いので、何らかの方法で知る機会があれば円滑に仕事を進められるかと思います。
6. 駅に近いところに大学を作って下さい。
7. 卒業記念品が学務課からリクエストされる備品ってのは、いくらなんでもひどいと思います。
8. 静岡大学との統合・再編成のニュースを読みながら状況を注視しています。
9. 新大学名をなんとかして欲しい。
10. 静大工学部との合併の話が持ち上がっていますが、浜松医科大学という名前はずっと残していただきたいです。
11. 現在出ている新大学名に不満があります。「浜松」「医」のワードは大学名に残して頂きたいです。例) 浜松医科工科大学、浜松医科化学技術大学、等
12. 6年間、お世話になりました。浜松医大で学んだことを活かせるよう今後も頑張っていきたいと思います。
13. 特になし。

専攻医、後期研修医

問 5. 浜松医大在学時に受けた教育あるいは学生生活において、現在の仕事で役に立っていると思えるものがあったら教えてください。

1. 基礎医学と医学の全て。
2. 基礎、臨床医学に関する基礎知識が現在の臨床での判断の基礎になっている。
3. 生理学、薬理学
4. 2年次後期以降の医学関連教育は大いに役立っている。
5. 解剖の試験
6. 座学に関しては特に印象ありません。ごめんなさい。
7. PBL は扱った症例が現在でも活かされるようなことがあり、良かったと思う。
8. 臨床における各分野の教育

9. 臨床講義、国試勉強（専攻科以外の知識において）。部活動（他科医師とのコミュニケーションにおいて）
10. 臨床実習（5,6年次）学生の時にしか経験したことがない症例に出会ったときに当時のことを思い出して診療に生かしています。
11. 臨床実習（5年次）は様々な診療科を見ることができ、進路決定や現在の診療に役に立っている。外科で行っているセミナー（希望者）がとても良かった。
12. 臨床実習（5,6年次ともに）
13. 臨床実習で丁寧に教えて下さった科があった。専攻を選ぶに当たり、自分に向いているのかどうかを探る参考になった。
14. 臨床実習のときの先生方のお話
15. 5,6年次の臨床実習では診療科の雰囲気を感じることができました。
16. 5,6年次の実習で教えていただいたことは今でも活かされている。
17. 5年臨床実習
18. 病院実習
19. 病棟実習
20. 脳外科の5年生の実習
21. BLSの実習
22. 実習ではグループで高めあうことができ、充実していたと思います。
23. 生理学実習により各検査のメカニズムは何となく理解できた。
24. 選択ポリクリ
25. 選択ポリクリでの地域研修で、家庭医の存在を知れたこと。内分泌科の講義
26. 選択ポリクリは、とても役に立っています。
27. ポリクリ
28. ポリクリで教えていただいた豆知識など意外に記憶に残っているものがあり役にたっています。
29. ポリクリの内容
30. 医学的知識（授業や試験、実習により得られたもの）。社会人になると病院内で働くことがほとんどなので、救急隊や訪問看護など院外の他職種の見学・実習経験は貴重だと思いました。

31. 基礎配属をきっかけに、研究の手伝いをさせていただいたこと。実験器具の使い方や、実験の方法論等の基礎を教えていただいた。
32. 救急部主体に行っているトリアージ訓練や災害訓練
33. ポリクリ、部活動を含めた学生生活での人の繋がり
34. 各学科の授業、ポリクリで学んだ知識は完全ではないものの日々の臨床において役立っている。学生時代では研究の話などは理解が及ばなかったが、少し耳にしたことがある話題とそうでないものでは、実際に話題が上がったときに理解しやすさが異なる。
35. 部活における上下関係
36. 部活や大学生活で得た大切な友人には、現在でも支えられ、とても感謝している。
37. 部活動
38. 部活動。硬式テニス部に所属していましたが、社会人として必要なマナー、上下関係など授業では身に付けることが困難なことを学びました。また、多忙な中で勉強と部活の両立をすることで自分の能力の幅が広がったと感じています。
39. 部活動がコミュニケーション能力向上に役立った。
40. 部活動が役立ったと思います
41. 部活動での経験が非常に役に立っていると思います。
42. 部活動で培った体力
43. 部活動を通じて先輩・後輩・同期などとの接し方や集団生活において役割をになう責任など多く学んだと思います。
44. 部活動に取り組んだ事。ポリクリは全体的に勉強になりました。積極的に参加して良かったと思います。
45. 勉強（授業）だけでなく、部活動に打ち込んだ事は体力や人間関係の面で大いに役立ったと思う。
46. ハンドボール部での部活動。同期との協力、遊び
47. 協調性
48. 先輩、後輩、同期などにコンサルトしやすい。
49. 大学病院内の各部署に知り合いがいること。
50. 色々ありますが、毎日朝起床して出勤することです。人と会話することも大事に思います。分からないことは聞く、まちがえたら謝る素直さを忘れないように心がけています。

51. 学生と仕事は、知識の面では多少のつながりはあると思いますが、卒後、実地にて学ばなければいけないことが多く（特に産科）、あまり役に立っていることはありません。
52. あまりない。
53. 特になし。

問 6. 浜松医大在学時に受けた教育あるいは学生生活において、現在の仕事を進めるにあたって、足りなかったと思えるものがあつたら教えてください。

1. もっと生理学、薬理学を勉強しておけば良かった。
2. 生化学をもう少し学んでおけば良かった。
3. リハビリテーション医学の講義
4. 2年時の時に受けた発生学の内容が希薄で、他大学出身者と比べてやや弱い印象があります。
5. 臨床・研究で使える医学統計の知識。論文の批判的吟味、評価の方法
6. 自分の問題ですが統計などの基礎授業を真っ当に受けるべきでした。
7. 文献の集め方。統計の取り方。
8. 論文の読み方や書き方
9. 論理的思考、英語、統計学を身に付けていればと思います。
10. 解剖総試は細かく单元ごとの方が一分野捨てるなど起きにくいのでは。
11. non-technical skill に関する教育
12. 医師以外の医療職に関わる知識（薬剤師、ME、理学療法士等）
13. 英会話や研究など
14. 英語の listening と speaking と writing
15. 英語の勉強
16. 英語学習
17. 英会話と、英語論文を読む機会
18. 臨床の場では意外に英語に触れる機会が多く、英会話や英語での論文記述のポイントなど、もう少し英語に触れる機会があれば良いと思う。
19. PBL はポリクリの後が良いかと思っています。

20. 疾患ごとに捉える勉強ではなく横断的な学習。PBL はほとんど知識がない状態で行ったので意味がないと思った。
21. ポリクリは、科によっては理不尽なことを言われたりして今でも印象に残っています…。
(外科ではないです。) 診察もプレゼンも推理も不慣れなので、嫌味のように学生を圧迫するような教育は避けていただきたいです。やる気はあったので…。
22. ポリクリ中での学生に対する態度であったり、他学の医局で見ていると、浜医は学生を大切にしていないと感じる。
23. 選択ポリクリの割合がもう少し多ければ、と思いました。
24. カルテの書き方等。実習でカルテに全く触らせないのはいかがでしょうかと思う。今がどうなっているかは知らないですが。
25. 基礎配属でもう少し研究に携われると良かった。(期間が短かった。) 医学研究、研究の方法などについてももう少し教えて頂けると良かった。
26. 臨床実習
27. 臨床実習の方法。大学によっては学生に可能な範囲で手技を行わせていたり、初期研修医のように受け持ち患者の治療方針を一緒に考えているところもある。
28. 臨床研究に関わる勉強が少し足りなかった印象を受けました。
29. 臨床研究の機会、教育
30. 臨床推論
31. 臨床統計学
32. 病院実習の内容(もう少しカルテをさわらせてもらったりしたかった。)
33. 大学病院での実習はいわゆる common disease に出会う機会が少なかったこと。外来患者への対応の仕方を学ぶ機会が少なかったこと。
34. 実際の臨床における様々なこと。輸液や抗生剤のことなど。
35. 実践
36. 実技や機械の操作をもう少し習得しておきたかった。薬の知識ももっと身に付けておきたかった。
37. エクセルとパワーポイントを使ってスライドを作り、発表する機会。
38. プレゼンの仕方
39. 自分のやる気
40. 自分の真面目さ

41. 自分の勉学に対する態度が甘かったと思います。
42. 勉学に対する積極性
43. 多くの分野でより深く学び、興味を持って臨むことができたなら、今は違った視点で医療を見ることができたのではと後悔しています。
44. 勉強場所
45. 運動の習慣
46. 保険制度等、医療全般についてより具体的に学んでおきたかった。
47. 問題把握、解決能力、そして一般的な教養や価値観
48. 部活のコンネクション
49. コミュニケーション教育
50. 社会人としての常識も教えてほしかった。
51. 仕事には関係ないことかもしれないが、国試のために自習した事以外で、大学生活での時間は全く今の仕事に生きているとは思わない。
52. 大学と現場とはまた違うものがあるので、役に立たないことがあってもそれは仕方ないと思う。
53. 特になし。

問7. 現在、浜松医大に在籍する後輩に対し、先輩として伝えたいことがあれば教えてください。

1. 基礎医学も大切。
2. まずは国家試験合格へ向かって欲しいです。それから実践をしていければと考えます。
3. 医学と並行して英語を学ぶべきです。
4. 英語の勉強と、社会人としての一般常識、教養を学ぶことをお勧めしたいです。
5. 英語学習、海外実習、大学外研修や勉強会
6. 学内のコミュニティで完結せずに他大学、他学部と積極的に交流すべき。
7. 研修先（たすきがけ）が多くの病院から選べるので、浜松医大はおすすめです。
8. 実習等で外部の施設に行く際のあいさつ等のマナーには十分注意して下さい。
9. 今のうちに勉強しましょう。

10. 勉強しましょう。
11. 勉強については周りとのペースを合わせる事が重要。
12. 適度に遊び、勉強は手を抜かない。
13. 部活、バイトだけではなく、勉強もしましょう。
14. 部活動頑張って下さい。
15. 土地柄、温厚な患者さんが多く、恵まれた環境で学ぶことができる。学生で何でも聞ける間に多くのことを吸収するのが将来にも生きてくると思う。
16. 同学年だけでなく、多くの知り合いを作りたいと思います。結局、人とのつながりが大切です。
17. 縦・横のつながりとバイト（社会のマナー）を積極的に！
18. 試験に通うことも重要ですが、興味のある分野を突き詰めて集中的に学ぶことも後に役立ちます。自信にもつながると思います。また、人との繋がりを大事にし、他人の気持ちを理解するように努めて下さい。
19. 学業、部活動、私生活をバランスよくこなせると良いと思います。
20. 沢山学び、沢山遊んで欲しいです。
21. 学生生活を楽しんで下さい。
22. 人の為に働ける社会人になってもらえれば嬉しいと思います。今は学生生活を楽しんで下さい。
23. 学生の時にしかできないことを沢山して欲しい。
24. 学生時代にしかできない経験を大切にして欲しい。机に座ってゆっくり勉強ができるということも学生の特権で贅沢なこと。また、部活や行事なども社会人になったら出来ないことなので思う存分楽しんで欲しい。プライベートでも旅行など色々な経験を！とにかく働き出したら全く暇などありません。
25. テストや実習は自分次第で結果が出ますが、働き始めると自分だけではどうしようもないことが多々あります。常に誰かにお世話になっている事を感謝し、相手のことを考えて学生生活を楽しんで下さい。
26. 医学の勉強、研究は医師になった後もいくらでもできるので、6年間という長い期間を医学の勉強だけに費やすのではなく、何かに打ち込んで下さい。それが結果的に、思わぬ形で医師として働くにあたって役に立つことが多々あります。
27. 学生のころに習う膨大な知識や、忙しい実習で大変だと思うが、一つ一つが役に立っているので根気強く頑張って欲しい。社会にも目を向け医学以外の事への関心も深めて欲しい。

28. 遊ぶときはしっかり遊んで下さい。健康に気を付けて下さい。
29. 良く学び、良く遊んで下さい。
30. 長期休みがあるうちに、色々な経験を！！
31. もっと社会や世界を見たほうが良い。
32. 充実した生活を送っていただきたいと思います。
33. 思い返せば濃厚な6年間でした。大切にして下さい。
34. 誘われるがまま入局しない。
35. 自殺だけはやめて下さい。休職、時短、フレックスなどの勤務制限や、医局、科の変更など、対応はいろいろあります。辛くなったらまず相談して下さい。
36. 壁にぶつかった時は、ひとりで悩まずに、親身になって相談に乗ってくれるセンターがあるので相談に乗ってもらいとまた一步踏み出せると思う。
37. 特になし。

問8. 現在の浜松医大に対して、卒業生として何かご要望がありましたら教えてください。

1. PBLは卒試、国試後の方が、議論が盛り上がると思います。（むしろ初期研修の方が）
2. PBLやポートフォリオなど、学生への指導方法を教育されていない医師に対する負担は、時間と労力に見合わないのではないかと、という危惧があります。教育方法に関する評価、検討をお願いします。毎年の国試合格率が良いので、今後も、ネット講義等、学生への金銭的援助を続けていただきたいと思います。
3. 卒試と国試の内容が解離しているので特に卒試は一時的な勉強になりがちであった。
4. 卒業試験をなくして臨床実習の期間を長くしている大学もある。各々メリット、デメリットはあると思うが、臨床実習からの出題も多くなっている（国試）ことから、そういったことも検討の余地はあるかもしれないです。
5. 現場の先生方は大変だと思いますがポリクリを長くするのは良いと思います。1年のころから臨床に近い授業を設けるとモチベーションが保たれるのでは、などと感じます。
6. 効率的な業務進行にパソコンの技能が欠かせません。基本的な教育をすることも必要と考えます。
7. 地域枠を減らして欲しい。学力と偏差値の低下と応募者数の低下が気になります。

8. ヘリポート←もう作っていたら、すみません。私の知る限り、野球場をヘリポートにするのは多くの問題点（救急車出勤&狭い道路でのすれ違い困難。野球場のポール対策が充分にできず、周囲の家にポールがぶつかっている。）がありました。救外 ope 室までアクセスの良い所に（たとえば機能強化棟屋上など）作るべきと思います。
9. 校舎がきれいになると嬉しいです。
10. 学生用の駐車場はしっかり確保してあげて頂ければと思います。（自分は使っていませんでしたが。）
11. 県内に残る医師を一人でも多く増やして下さい。
12. 県内の市中病院に人を回せるようにして欲しいです。
13. 早くナンバー内科をやめる。教授を増やす。
14. 他学部を併合して名前が変わるのは悲しいです。
15. 今の仕事は楽しく、医師になれて良かったです。大変感謝しております。ありがとうございました。学生はある程度、のびのびとした生活、教育は大切かと思います。
16. 飲酒での失敗には気を付けましょう。
17. 今後もご活躍を期待しております。
18. これからもどんどん進歩して欲しい。
19. 特になし。

大学教員・大学病院勤務医

問 5. 浜松医大在学時に受けた教育あるいは学生生活において、現在の仕事で役に立っていると思えるものがあったら教えてください。

1. 医学知識
2. PBL は今となってはとても良い学習の機会になりました。また、臨床実習がキチキチしすぎていなかったのが良かったです。（今の勤務先の大学は私大だからか、学生の管理がきちりしすぎていて、学生の自主性がそがれている気がしており、浜医は自由な分、自分であれこれ考えてやっていたなと思いました。）
3. ポリクリ、卒業試験
4. 5,6 年次の臨床実習

5. 5年次の小児科実習で新生児グループに割り当てられたことがきっかけで新生児医療に興味を持ち、現在新生児医療に携わっている。
6. 臨床実習が参加型で単なる見学に終わらないのが良かったです。現在勤務している東大はその点では浜医に遅れています。
7. 基礎配属の解剖実習や、臨床薬理での勉強が、臨床及び基礎研究に役立っています。
8. 実習で色々な科を回ったこと。
9. 基礎医学での実習
10. 選択実習でのプレゼンスライドの作り方の学習。基礎配属における研究室でのふるまい。
11. 関連市中病院でのローテーション
12. 部活動
13. 学生生活での部活動は社会性の向上においてやや良かったと思える。
14. 部活での人間関係構築
15. 部活動での先輩後輩関係があり、仕事を円滑に進められている。
16. 部活動において形成した人間関係
17. 部活動の人間関係や、社会通念など。医学的知識は仕事に役立っている。
18. アルバイトの経験
19. 忍耐力がついた。
20. 特になし。

問 6. 浜松医大在学時に受けた教育あるいは学生生活において、現在の仕事を進めるにあたって、足りなかったと思えるものがあったら教えてください。

1. 基礎医学（ただ、これは実際に臨床をやっているからこそ感じるのだと思います。）
2. 生理、生化学などの基礎医学の知識
3. 実際に仕事についてから、生化学や病理学などの基礎科目の重要さに気付いた。統計学についてもう少し学びたかった。
4. 統計の知識
5. 統計の勉強をもう少ししっかりやりたかったです。

6. 医療統計やエビデンスの読み方（学士編入のため、1年次にはやっているのかと思いますが、年次が上がってからも継続学習があっても良いかと思います。）
7. 医療統計学をもっと学んでおきたかった。（自分自身が不勉強であっただけですが。）
8. 論文の読み方や英語
9. PBLは学生のやる気のなさや知識不足からインターネットサイトのcopy and pasteになっており無駄としか思えない。授業がわかりにくいのも不満であったが、自身が指導側になると授業を行うことの難しさが分かり、致し方ないかと考えている。
10. 基礎研究への学生時代からの取り組み
11. 基礎配属時に具体的なテーマを与えられ、論文作成の基礎についてもっと具体的な指導を受けられれば良かったです。
12. 5学年、あるいは6学年時に通学や実習日が多過ぎると感じ、もっと休日や自由な時間が必要と思う。
13. 必修臨床実習における指導医および担当医のチェック機能
14. 最前線で責任を任された上での病歴・身体診察
15. 初期研修医との交流の機会を増やして臨床との窓口にして相談しやすい環境づくり。
16. 臨床現場の厳しさを体験すること。
17. 医師免許を持った者のキャリアの種類の提示
18. 一般常識
19. 特になし。

問7. 現在、浜松医大に在籍する後輩に対し、先輩として伝えたいことがあれば教えてください。

1. 基礎医学の授業を大切にしたい。
2. 薬理や生理など、基礎科目の知識が臨床でも大切だと感じる人が多い。
3. 5,6年次の実習は、臨床医が時間を削って担当しているので、積極的にまじめに受けて欲しい。
4. 実習で病院に来る時くらい、他者からの目を気にして欲しいです。世間は厳しいです。今はちやほやされていると思いますが。信頼あつての仕事なので、「演じる」ことも必要だと思います。

5. 部活動には参加した方が良いと思う。
6. 部活が盛んなのは悪いことではないが、病棟実習が始まった段階で臨床の勉強にギアを切り替えた方が良い。
7. 若いうちに海外や全国を旅して沢山見ると良いと思います。部活ばかりでは大学生活は充実しません。
8. 単科大学としてのメリットを大いに享受しつつ、他大（特に他科）の知己を得て視野を広げられると今後の人生に活きると思います。
9. 浜医の卒業生は優秀な方が多いと思います。是非、様々な場面で活躍していただきたいです。
10. 進路選択の重要性
11. コミュニケーション能力はとても重要である。
12. 大学生活を楽しんで欲しいです。
13. よく遊び、よく学んで下さい。
14. 自学自習を頑張ってください。
15. 頑張ってください。
16. 特になし。

問 8. 現在の浜松医大に対して、卒業生として何かご要望がありましたら教えてください。

1. ECFMG の認定から外れないように教育体制を改良して欲しい。
2. 医師不足県ゆえやむを得ない面はあるかと思いますが、地域志向を強めすぎずに外に打って出る医師が増え、それがまた還元される循環ができると良いと思います。
3. 地元（県内出身者）が残りやすい環境を作って欲しい。
4. 夏休みを長くして海外への留学などにあてて欲しい。ゆとりある時間を与えてあげて下さい。
5. 駐車場を拡張してあげて欲しい。
6. 構内道路の工事を早く終わらせて欲しい。
7. 静大と合併して欲しくないです。

8. 要望ではないのですが、私は編入試験で入学させていただきました。理系の素地もなかったのに合格させていただき、学生生活を送ることができたため、今の私があります。母校には一生感謝します。ありがとうございます。
9. ますますの御発展をお祈り申し上げます。
10. 特になし。

一般病院勤務医

問 5. 浜松医大在学時に受けた教育あるいは学生生活において、現在の仕事で役に立っていると思えるものがあったら教えてください。

1. あらゆる授業内容が役立っています。
2. 卒試、国試でのグループ学習
3. ESS（今はもうないそうですが）で留学生と交流し、英語の論文の読み方やディスカッションをした経験が今でも活かされています。救急部の協力で ACLS の WS をさせていただいたこと。フライブルク大学への留学経験がかけがえの無いものになっている。
4. 海外研修
5. 国試に役立った知識。しかし、臨床をやっていくうちに忘れてしまうものが多い。
6. PBL は臨床の考えにつながると思います。グループワークは、今の仕事をしながらも、様々な研修でワークショップがあり、入りやすいです。
7. 実習では今後目指す診療科をある程度見据えることができたと思います。PBL は導入されたばかりでしたが、「考える」というベースにはなったかと思います。（もう少しファシリテーターが良ければいいと思いました）
8. 臨床実習
9. 臨床実習（ポリクリ）や、選択ポリクリは、役立っていると思います。特に選択ポリクリは、選択するものにもよるとは思いますが、パワーポイント作成等は役立った気がします。
10. 臨床実習およびシミュレーターを用いたより実践的な学習によりモチベーションが上がり、それに伴って必要となる知識をより一層勉強する機会になった。
11. 臨床実習でのコミュニケーション（患者や医療スタッフ）
12. 臨床実習で幅広い臨床分野に接したこと。

13. 臨床実習全般は臨床医の基礎として役に立っていると思う。
14. ポリクリ
15. ポリクリ（特に選択）選択ポリクリの際に海外実習は行かない方が良いと教官からアドバイスされたが、結果的には海外に行くととても有意義だったと感じた。
16. ポリクリ、実習
17. ポリクリのクルズス、ベッドサイドラーニング、第一内科・第二内科の授業
18. ポリクリは生の医療現場を知ることができ貴重な経験だったと思います。
19. いわゆる一般知識の習得は、授業により根拠と結び付けて記憶することにより定着し、医師となった現在もその知識と根拠をもとに臨床に応用している。しかし、残念なことに浜松医大ならではの経験値というものはあまり実感出来ていない。学校生活においては、部活動により組織活動および人とのつながり、コミュニケーションの取り方などが磨かれ、人格そのものの形成に大きな影響があった。幸い、弓道部に入ったことで協議そのものについても社会人になって自身の趣味の一つとして取り入れることができ、充実した人生を過ごした。
20. 集中して勉強をしなければならぬ期間とフリーな期間のメリハリがあり、切り替えの大切さを学んだ。
21. 上の先生たちの生き様
22. 先輩がすごく真面目に初期研修をやっていて、こんな風にやるんだと思ったので、自分が就職してからも先輩のようになろうと思えたこと。
23. 部活
24. 部活（ボート）でのチームワーク、人間関係。基礎配属（生化学）での研究
25. 部活でのつながり
26. 部活でのマネージャーとのやり取り 医師として病棟に出てぶつかる前に、色々経験できて良かったです。
27. 部活で得た社会性
28. 部活動での上下のつながり
29. 部活動の先輩に恵まれていたので、在学中、卒業後も良いロールモデルが大勢いて、目標になった。学会誌や学会で知った名前を見ると本学卒で良かったと思うことがある。
30. 全てが少しずつ役に立っている様に思います。
31. 特になし。

問 6. 浜松医大在学時に受けた教育あるいは学生生活において、現在の仕事を進めるにあたって、足りなかったと思えるものがあったら教えてください。

1. 統計学、経済学などの医療以外の学問
2. 統計学などの基礎分野の理解
3. 統計処理の実践
4. 論文の読み方、書き方（当時は必要性を感じられなかったが。）
5. 論文の読み方、統計の使い方など
6. 座学、特に一般教養や基礎医学は残念ながら得られたものは皆無だったと言わざるを得ません。学生が何も知らない初学者だということを無視した一方的、傲慢、押し付けの講義で苦痛でした。教員が学生の理解度や興味を考慮せず、自分の好きなことだけを話し、試験ができなければ落とすぞというのは教育と言えるのでしょうか。
7. 英会話、統計
8. 英会話の必要性を常々感じている。6年間を通して学べる仕組みがあったり、大学として積極的に留学を勧める環境があれば良かった。
9. 英会話やポルトガル語教育
10. 英会話教育をもっと重視すべきです。統計解析の基本についても系統的に学びたかった。当時の数学の教授ではとてもそんな講義はされなかったが、臨床においても統計の重要性は大きい。同様に Word、Power Point、Excel なども卒業してから独学で学ぶのは効率が悪い。必須なのだからもっと大学で学ばせるべき。
11. 英語
12. 英語の診療等
13. 英語力
14. 継続した英語の学習の機会
15. 教育に関しては、よく言われることだが、英語の取得は必須と考える。大学時代にすべきであった、最大の後悔である。
16. プレゼンテーション能力の向上と論理的考察方法の構築が圧倒的に足りなかった。特に自分は、高校時代の詰め込み型受験的頭脳から、自ら調べて検討する論理的考察への思考回路の転換に非常に時間がかかった。「根拠に基づく考察」の癖、つまり、ある検査結果が「高値」だったとして、ただ「高値です」というのではなく、「生活歴に過剰摂取が疑われる部分があるため高値だと思われます」というように常に根拠を大事にする考え方を早く身に付けるべきだったと振り返る。プレゼンテーション能力については、実際に経験しないとわか

らないことも多いが、「プレゼンテーションZEN」や「インセンティブプレゼンテーション」といった意識変革の本も発刊されているので、そういう著者を招いた講演会などを企画しても良いのではないかと考える。

17. 症候→鑑別→検査→診断の通常の流れ PBL の症例、やり方がいまいち過ぎた。
18. チュートリアルがあったが、あまり役に立っていない。ポリクリが科によって充実した科とそうでない科があった。ポリクリで医者はキツイとひたすら言う Dr.が居て絶望した→先輩に相談したら否定していた。大学病院のコメディカルの学生に対する姿勢が非常に悪い。外来では邪魔扱いされ、実習がしにくかった。
19. 講義においても少し各科に興味をもてる内容にするとポリクリ等での印象も変わらなうと思った。実習はもう少し科ごとに重き（比重）を分けてもいいと思った。基礎分野も今もっと理解しておけばよかつたと思うのでその部分を臨床とも絡められるとより良いと思う。
20. 一般教育があまり役に立っていないように思う。医学統計の勉強が5,6年生の頃にできたら有難い。
21. 臨床に役立つ授業
22. 臨床実習でもう少し研修医の先生と協力して診察を行うことができればよかつたと思う。
(私が他大学病院で研修医をした時は、科にもよりますが、学生さんとかかなり協力して診察やプレゼンをしていました。)
23. 看取り、スピリチュアルケア。
24. 他の学部、学科との関わり、グループ医療について
25. 他校との交流が少なかつた。
26. 学外の情報。現在東京で働いておりますが、学外の国際交流やボランティア活動をしていたという同僚をよくみかけます。浜松でもありましたが、あまり活動が活発でなく、立地の面からも参加していなかつたので、少し後悔しています。
27. 過去問ばかり勉強するので、具体的なこと、実践的なことへの応用力が今でも足りないと思います。
28. 与えられすぎるよりも、ある所へ向かわなければならなかつたり、能動的になりたい自分が見つかったらよかつたと思っています。
29. 学習意欲とモチベーションの維持
30. 社会人としての教養、マナー
31. 特になし。学生時代と就職してからは良くも悪くも違ふと思うからです。
32. 特になし。

問 7. 現在、浜松医大に在籍する後輩に対し、先輩として伝えたいことがあれば教えてください。

1. 学生のうちに広く浅く疾患の基礎知識をつけておくと思います。
2. 統計学や基礎医学の考え方や知識を疎かにしないこと。
3. 授業もきちんと受けば将来役に立つ。
4. 英会話をやっておくといいと思います。
5. 英語は重要です。苦手意識を持たないようにする必要があります。試験勉強が大変だと思いますが、医学以外のこと(経済でも IT でもなんでもいいです)も勉強するといいでしょう。
6. 英語取得の全てを全力で頑張る為に自分には何が必要でどうありたいか、よくよく考えて貴重な大学生活を過ごして頂きたい。
7. 日本の論文投稿件数は年々減少傾向で、国力も落ちている。国内を基準に考えていては、世界との差はどんどん広がるばかり。自分の可能性を無限大に広げるためにも、英語の取得は必須。多少の犠牲を払ってでも、英会話、リスニング、ライティングに力を入れて頂きたい。
8. 論文を調べる(引く)訓練を。
9. もっと海外経験を。過去問ばかり勉強してはだめ。
10. 浜松医大の先生方は、皆「浜松にいた」というだけでよくして下さる先生が多いです。人と人とのつながりが大事な医療下においてとてもメリットが高いと思います。ですが、浜松だけにとどまらず、Global に視野を拡げて頑張って下さい。
11. 患者さんを一番に考えること。
12. 社会人としての教養、マナーを身に付けること。研修医になってもポリクリと同様になってしまう。
13. 一人の医学生や研修医が社会的に問題になると出身大学が取り上げられることが多い。(良いことも悪いことも)働いて改めて感じたのは、本校卒業生は他校に比べ優秀という認識が多いので、自覚を持って頑張って下さい。
14. 今振り返れば自分の時代も既にそうだったが、部活動と大学のテストをこなしておけば良い、という時代は既に過ぎ去ったと思う。これから、医師は「選ばれる時代」に入るので、実力をつけていかないといけないと感じる。大学での勉強以外の活動として、海外での実習経験やボランティア経験などを行い、自身の人間性、世界観を高めて頂きたい。それが、卒業時には大きな差となり、医師としての人間形成に大いに役立つものと考えてる。

15. 自分の時間が沢山あるのは学生時代までなので、勉強だけじゃなくて、部活・サークルなどで自分の好きなものを見つけて、アルバイトなどで社会性を身につけて、6年間めいっぱい楽しんで欲しいです。
16. 浜松医大の強みは良くも悪くも何もないところ。部活には間違いなく所属した方がいいと思います。
17. 部活を頑張ってください。部活をやった人とやらない人で色々姿勢が違います。
18. 勉強も大事ですし、体力もいるので部活も大切だと思います。またコミュニケーション能力はある程度要すると思うので、体育会系でなくても何らかのコミュニティに属することは良いのではないかと思います。
19. 学生のうちに遊んでおく必要がありますが、学ぶこともそれ以上に大切です。
20. 大学教育と臨床の現場はつながっていますので、学生生活を大切に過ごしてもらいたいと思います。
21. とりあえず体力がないと医師はできません。9年目でバイト医に drop out しました。
22. まとまった長い期間を集中して使うことができる最後の時間です。何でも良いと思うので楽しんで下さい。
23. 働き出すと時間がない。
24. コンビニなどでき、更に充実した生活が送れるのではないのでしょうか。
25. 環境も良く、学内の雰囲気も良く、良い母校と思います。
26. 限りある時間の中で、興味のあることを存分に謳歌して下さい。
27. 広く見聞して大きくはばたいて下さい。
28. いろいろあると思いますが、負けずに楽しんで！！
29. 頑張ってください。
30. 特になし。

問 8. 現在の浜松医大に対して、卒業生として何かご要望がありましたら教えてください。

1. 2年生までの基礎の授業は必要ないと思う。地元枠を広げすぎると、学校の質（学力、偏差値）が落ちるのではないかと思う。
2. ディスカッション力をつけるような教育をして欲しいです。受け身の教育では良い医師は育たないと思います。
3. 求心力のある単科大学として、市や企業との連携なども良いのでは。
4. 人口減少、高齢社会に突入するなかで、どのような優位性、独自性を示して生き残っていくのか。強いビジョンや改革の意思を明確にしてもらいたいです。
5. 静岡県外に就職したが、浜松医大卒と言うと一目置かれる印象がある。おそらく、OB、OGの先生方の活躍や学術的な実績によるものだと思う。今後益々の発展を願っています。
6. 卒後、全国各地で活躍しているという印象があまりないように思います。視野を広げるような取り組みがあるといいのではないのでしょうか。
7. 中・長期的な視点を持った方針で運営して欲しい。特に基礎研究分野。
8. 病院、医大は完全にブラック企業。今の学生は、仕事とプライベートの両立を良いことと教育された世代。症例数、研究発表数を重視する教授が多いと思うが、プライベートの時間を確保するよう大学全体としてルールとしなければ大学に残る Dr.や勤務医は増えない。
9. 「浜松医大」という小さい枠にはめるような教育はしないで欲しい。
10. 柔軟な発想と wit に富んだ対応で、学生のモチベーションとレベルを引き上げて頂きたい。
11. 研修医の寮をきれいにしたい。
12. 大学生に対し、大学側が特に何かを行わなくていいと思います。人生において本当に楽しい時間をくれた浜松医大に感謝しています。
13. 要望はありませんが、適応はいつもいろいろありますね。
14. 特になし。後輩教育頑張って下さい。
15. 特になし。

その他

問 5. 浜松医大在学時に受けた教育あるいは学生生活において、現在の仕事で役に立っていると思えるものがあったら教えてください。

1. 他病院での実習、授業（臨床）
2. 臨床をしていないので偏った意見になりますが、HOPE で海外留学生と交流できたこと、IFMSA の総会に参加して知り合いが増えたこと、4 年次の実習で産業医学に出会えたこと、6 年次の選択実習で、ハワイ大学で実習が行えたことが挙げられます。
3. 基礎配属での北川教授の教室での経験は大きく大学院に進もうと思う motivation になった。とても充実していて素晴らしい3カ月間だった。
4. 基礎配属を含めた研究室への所属を通じて、研究や発表の経験を積むことができたこと。また、選択実習における家庭医療のクリニックでの指導は臨床に出ても患者さんと向き合う上で非常に有意義であった。
5. 学生時代の人間関係

問 6. 浜松医大在学時に受けた教育あるいは学生生活において、現在の仕事を進めるにあたって、足りなかったと思えるものがあったら教えてください。

1. 国外での実習は認められるのには、県外の医療機関での実習は制限されるなど閉鎖的な文化があること。県外では、部活動以外でも他校や他学部と合同で勉強会を開催する機会などもあるので参考にしていかがでしょうか。
2. 英語の重要性は知りつつも実感がなかった。学生時代にもう少し動機づけがあって、英語技能を上げる対策があればと思う。TOEIC、TOEFL での単位想定のみではあまり効果はない。英語を使う機会が多ければと思う。
3. 英文での論文作成のポイントなど知りたかったです。
4. 初期研修を行った際に困ったこととしては、他の大学の卒業生と比較して、臨床よりの知識や経験が足りないまま卒業したという印象があります。（ポリクリでは指導する先生次第で実習の質が大きく変わるため、「最低限このライン」は全員ができるようになることを目指すというようなものが設定されていればよかったように思います。）実践的な統計の考え方や論文の読み方や検索の仕方を系統だって6年間を通して学ぶようなカリキュラムがあって

も良かったように思います（EBM の実践や学術論文の基本的なところの理解で卒後に苦勞しました。）

問 7. 現在、浜松医大に在籍する後輩に対し、先輩として伝えたいことがあれば教えてください。

1. 臨床、研究とも英語を読むだけでなく、聞く、読むともに必要になることが多い。
2. 医者以外の知人も多く必要
3. 静岡県で働くことは浜松医大に与えられた使命の一つではありますが、時間がある学生時代に、医学以外のことでも県外や海外の知見にも触れる機会を持つように心がけた方がいいと思います。小さくまとまらないことも静岡県に貢献する一つの方法ではないでしょうか。
4. 色々な経験を積んで、臨床医学だけでなく、幅広い知識も併せ持って広い視野で医学に関われる Dr.になって欲しいと思います。

問 8. 現在の浜松医大に対して、卒業生として何かご要望がありましたら教えてください。

1. 私自身も静岡出身ですが、学生の多様性を確保することを切に願っております。人口の減少が激しい静岡県において、県外の学生の選択肢に入る特色を打ち出しいくことが優秀な医師の輩出につながると思います。また、浜松医大は女性医師に細やかな支援をしているので、女性医師支援を前面に打ち出して優秀な学生を呼び込むのも良いのではないのでしょうか。
2. 海外の大学や研究機関との連携を増やして欲しいです。
3. 特になし。

V 参考

平成30年7月

浜松医科大学卒業生 各位

浜松医科大学理事(評価・労務担当)
渡邊 裕司

浜松医科大学の教育に関するアンケートのお願い

現在、大学においては教育の内容や成果を、自ら点検・評価し、改善に繋げる仕組みが求められています。また医学教育の国際基準においても、同様の取り組みが必須となっています。

これら状況を鑑み、浜松医科大学では、教育プログラムの点検と評価を行うためのカリキュラム評価委員会を組織しました。今回はその一環として、同窓会の協力を得て皆様にアンケートのご案内差し上げた次第です。

卒業生の皆様からは、浜松医大在学時に受けた教育が、実際に働くうえで役に立ったのか、あるいはそうでなかったのか等、ご教示いただきたいと思います。業務ご多忙の折、まことに恐縮ですが、調査にご協力をいただけますようお願い申し上げます。

記

調査の目的: 卒業生(卒後10年目までを対象)から意見をもとに、浜松医科大学の教育成果・問題点を明らかにする。

ご回答方法: 下記の2つから、一つを選び、ご回答ください。

- 1) 書面でご回答いただく場合
⇒ 回答用紙にご記入後、同封の返信用封筒にてご返送ください。
- 2) Web ページのフォームからご回答いただく場合
⇒ 下記の Web ページのフォームからご回答ください

<https://questant.jp/q/alumni-survey>



ご回答期限: 大変恐縮ですが、平成30年8月末日までにご回答いただけますようお願い申し上げます。

以上

【本件担当】
浜松医科大学企画評価課
IR 担当 中山 伸朗
TEL: 053-435-2896
E-mail: hyouka@hama-med.ac.jp

問 5. 浜松医大在学時に受けた教育あるいは学生生活において、現在の仕事で役に立っていると思えるものがあつたら教えてください。

問 6. 浜松医大在学時に受けた教育あるいは学生生活において、現在の仕事を進めるにあたって、足りなかったと思えるものがあつたら教えてください。

問 7. 現在、浜松医大に在籍する後輩に対し、先輩として伝えたいことがあれば教えてください。

問 8. 現在の浜松医大に対して、卒業生として何かご要望がありましたら教えてください。

アンケートは以上で終了です。ご協力ありがとうございました。